

田中俊一 元原子力規制委員会・委員長 vs 畑村洋太郎 危険学プロジェクト代表（元政府事故調委員長） 対談

日時：2018年7月14日 15:00～17:00

場所：福島県飯舘村 飯舘山荘

対談テーマ：「福島原発事故について、どこまで考えておけばよかったか」

陪席者：危険学プロジェクトメンバー 22名，NHK制作局スタッフ 4名

田中俊一元原子力規制委員会・委員長は、福島県飯舘村の復興のために、国と村、地域との橋渡し役になりたいとの思いで、飯舘村に居（「飯舘山荘」と称している）を構え、月の半分をここ、残りの半分をひたちなか市にある自宅で過ごすという生活をされている。

ポスト危険学プロジェクトのメンバーで7月に飯舘村に出かけ、現状を調査する計画^(注)があったため、田中俊一先生と日程を調整し、14日（土）の午後3時から、先生の居宅である飯舘山荘で対談することになった（写真1&2）。

（注）福島県飯舘村の現状調査については、「福島原発事故被災地「飯舘村」の現状調査」というタイトルで、調査結果を本ホームページに掲載しているので、これを参照されたい。

テーマは、「福島原発事故について、どこまで考えておけばよかったか」とした。

約2時間に及ぶ対談は、日本の科学技術や文化レベル、経営層・国・科学者・マスコミ・一般国民の在り方、さらには防災・減災の在り方、それを支える人材論など広範に及んだ。

対談の最後には、陪席しているポスト危険学プロジェクトメンバーから、事故原因や事故後の新しい規制等について質問した。また、対談後の危険学プロジェクトメンバーとの2時間以上に及ぶ懇親会でも、田中俊一先生と親しく意見を交換した。



写真-1 対談風景



写真-2 対談に陪席しているポスト危険学メンバー